

2019年度

第2回

自己評価委員会報告書

学校法人長野県理容美容学園

松本理容美容専門学校

自己評価委員会報告書

日 時：令和2年 2月26日（水） 10：30～13：00

場 所：松本理容美容専門学校 校長室

出席者名：(学園) 長尾理事長・嶋村副理事長・吉川事務局長・桐山広報企画部部長

(学校) 小原校長・小口教務主任

長尾理事長挨拶

自己評価委員会の場は、自己の反省をふまえ、両校教育をより一層向上することのできる良い機会になっている。学校の教育内容・施設設備の充実など素晴らしい学校になっていると感じている。

今後、18歳人口減少に伴い学生募集がより厳しい時代になっている。早めに戦略を立て、前向きに取り組んでほしい。

【審議検討事項】

1. 2019年度自己点検・自己評価について（資料①参照）

2019年度報告として、7月自己評価委員会において中間報告した項目に加え、全項目の周知すべき点の報告を行った。

(基準1) **総括**：令和2年度入学生、在校生へ「高等教育への進学支援」の指定校となる手続きを「長野県・文科省」の指示に従い推進した。

「高等教育への進学支援」として令和2年2月10日現在在校生の13名の希望者がいる。

・31年度第11回全国技術競技大会・信越北陸地区大会

全国大会出場 美容 ワインディング 1名 ネイルアート 2名

理容 ワインディング 1名 クラシカルバック 1名 デザイン画 5名

全国大会優秀賞 ネイルアート部門 優秀賞 1名

エステティックコンテスト 応用部門 準優勝 1名

・少子高齢化による、学生募集に対する教職員の意識喚起が必要である。より充実した学生指導となる為に、教職員の「取り組みの指針」を共有した。

・「ビューコレ2020」は在校生の学習成果を発表する機会と共に、県内の高校生に美容学校の取り組みを広め、入学動機につなげるイベントとしていく。

・長野校・松本校の教職員が一丸となって、在校生の学生成果を発表する機会として、令和2年度4月からの学生指導、学習指導の充実を図る。同時に両校の担当職員の連絡を密にして、当日までの準備を進める。在校生の少子化、サロンの人材不足の改善策につなげる。

(基準2) 令和元年 文部科学省「高等教育への修学支援」認定校となる。

・令和2年度9月に「ビューコレ2020」のイベントを企画した。

・「ビューコレ2020」を実行することで、教職員の連帯感を高め、運営方針に直結する、学生募集の改善策とする。

・長野校・松本校によるイベントへの役割分担を明確にして、協力体制を強化した。

・「ビューコレ2020」の主旨・目的について理事会・評議委員会において了解された。

・令和2年度光通信システムに切り替え、情報通信インフラの充実を図る。

(基準3) ・増員した教員に必要な資格取得を推進した。

美容科専修学校教員免許

文化論教員免許

パーソナルカラー検定モジュール1

A E A上級認定エステティシャン

(基準4) **総括**：令和2年度に行う「ビューコレ2020」を長野校と連携して、実施計画を進めている。

- ・本校の特色として、県外の有名サロンにも就職可能であることが学生募集・在校生満足度につながっている。就職部中心に就職相談を密に行い、結果を出せている。高校生・在校生からの評価も高く実績がある。
- ・校長を中心として、学校支援サロン周りを実施していく。
- ・就職相談室を今まで以上に活用できる体制を完備していく必要がある。就職内定率100%を目指していく。
- ・31年度美容師国家試験100%及び日本エステティック協会認定エステティシャン試験の合格率100%達成を果たしている。
- ・パーソナル検定モジュール1 71名受験 58名合格 合格率81.7%
- ・メイク検定 3級86名受験 86名合格 合格率100% 2級86名受験 85名合格 合格率98.3%
- ・ネイル検定 73名受験 67名合格 合格率91.7%

(基準5) **総括**：令和2年度9月に長野校合同となる「ビューコレ2020」イベントを企画。

実施に向けての、委員会を立ち上げ予算計画・行事計画・授業計画を作成して、在校生と共に保護者、高校生に美容学校の学生成果を発表する機会となるように準備を進めている。

- ・令和2年度入学生、在校生へ「高等教育への修学支援」の指定校となる手続きを「長野県・文科省」の指示に従い推進した。
- ・令和元年11月11日（月）保護者対象とした、授業参観を行った。（参加保護者11名）

(基準6) ・校内6カ所に防犯カメラを設置した。

(基準7) **総括**：就職内定率の強化。学生募集ネット化の検討

- ・本校の特色として、就職内定率100%。県外有名サロンへの就職の実績等が県外流出の抑えになると考える。今後、学校支援サロン周りを、校長・就職部中心に実施し、業界の向上。学生募集への協力体制を強化していく必要がある。
- ・2020年度実施のビュー・コレ2020に向けて、チラシ・ポスターを作成し、進路ガイダンス時に配布を開始している。
- ・HP・リクナビにも応募フォームを作成。高校生の参加を促す。
- ・県内高校・保護者・学校支援サロンに対し、ビューコレの案内をしていく。
- ・支援サロンの協力体制の強い学校として、2020年度パンフレット表紙のヘアメイクを依頼した。
- ・ネット化の流れをふまえ、ネット願書出願を目指し、業者の選定・方法を検討していく。
- ・AO入試方法・進路ガイダンスの在り方について検討していく。
- ・支援サロンの協力体制の強い学校として、2020年度パンフレット表紙のヘアメイクを依頼した。

(基準8) 継続して、問題なく実施できている。

(基準9) 継続して、問題なく実施できている。

(基準10) 継続して、問題なく実施できている。

2. 重点目標について（別紙1・2参照）

○2019年度実施報告

① 就業規則の見直し ②指導の効率化 ③教育カリキュラムの充実

- ・働き方改革の取り組みとして、1年間の流れの中で、概ね就業規則に沿って実施できている。
- ・行事指導・コンテスト指導・低位の学生指導においても、教職員の連携により効率化が実践されている。
- ・産学連携カリキュラムの実践から2年間を終了し、スムーズな授業運営が整ってきた。今後は、今までの取り組みを活かした次年度への提案を授業内容に取り入れていく。

3月31日時点で2019年度重点目標の実施状況の報告

2020年度も引き続き、重点目標を中心に向上していく努力をしていく。

○2020年度目標課題

① ビューコレ2020への取り組み ②学生募集と就職指導の充実 ③教育カリキュラムの充実

本年度、入学者数が、昨年度より20名減少したことに危機感を持ち、職員全員で学校の魅力向上するための努力をしていきたい。

- ・在校生の学修成果が反映する機会として、ビューコレ2020に向けて、教職員一同団結して取り組む。満足度を高めるとともに、学生募集につなげる。
- ・学校の特色となる、県外有名サロンへの就職実績を高め、県外進学希望の高校生に対する本校への進学動機につなげる。
- ・産学連携授業カリキュラムの充実を推進。

3. 学校関係者委員会の報告（別紙3）

- ・前年度より、各コンテスト成果が向上していると感じている。教職員の先生方の熱心な教育の賜物である。
- ・学校の取り組みについては、質の高い教育を実施出来ているので、評価している。
- ・働き方改革について難しい部分であるが、前向きに取り組んでいるので良いのでは。業界向上のためにも、働き方改革に基づき考え方を一新してほしい。学校の特色として、働く事・就職に対してきちんと学べる学校であることが、県外の学校との差別化になる。
- ・新任教員を大切に育成して行ってほしい。

以上が、学校関係者評価員会にて検討した事項の報告

4. 学生募集について

学生募集が厳しい時代に全国的に力を入れてきている。生き残れるために本学園として学生を獲得していく上で、どこをポイントに募集を行っていくことが大切である。

学生を引き込む力（セールス力）が重要となるため、戦略を検討して行ってほしい。担当者全員で意見を出し合っていく。

よりよい教育・よりよい施設の充実。在校生満足度。職員の意識向上が重要である。どれだけ危機感を全職員が持って行動していくかを大切になってくる。

次世代育成も必要な段階に来ている。

上記の内容をふまえ、

高校廻り・学校支援サロンの活用・オープンキャンパス動員増加・進路ガイダンスの在り方・人間力・セールス力・アプローチする力を、意見交換をしてマニュアルを強化していく。・・・3月16日検討会

5. 次回自己評価委員会

日 程：令和2年7月7日（火） 10時30分より 場 所：松本理容美容専門学校 校長室